

# じんけん新聞創刊!



会長 梅田 幸夫

じんけん新聞の創刊にあたりまして、一言、ご挨拶申し上げます。市民の皆様には、日ごろより泉南市人権啓発推進協議会の活動にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本協議会は、1979年に設立されて以来、現在まで、市民と行政の連携・協働のもと、各小学校区での地域に根ざした活動をはじめ、多くの市民の皆様の積極的なご参画のもと、地道ではありますが、「人権のまちづくり」に向けて着実に成果をあげているものと認識いたしております。これもひとえに皆様の熱意の賜物と深く感謝いたしております。

しかしながら、今もなお、私たちのまわりには、同和問題をはじめとして、女性、障がい者、高齢者、子どもなど様々な人権問題が存在しております。わたしたちは、誰もが平等で幸せに生活できるように、お互いを認め合い、力をあわせて「人権尊重の社会」を築くことで、はじめて一人ひとりが豊かに生きることができるようではないでしょうか。

本協議会では、今後とも、様々な取り組みを行って参りますので、市民の皆様のご参画のほど、よろしくお願い申し上げます。

# きんずな

## 創刊号

### 2011年8月

<発行>  
泉南市人権啓発  
推進協議会

## 人権啓発推進協議会の総会が開催されました

4月23日、平成23年度泉南市人権啓発推進協議会の総会が開催されました。当日は、大雨にもかかわらず、たくさんの方に参加していただきました。

梅田会長のあいさつに始まり、向井市長の来賓祝辞、その後、関本副会長の議事進行により、すべての議案が承認されました。

昨年度は、新たな取り組みとして、「人権」や「本協議会」のことを、より多くの方に知っていただくという意見から企画実行委員会を立ち上げ、総会当日は新しく作成したパネル展示やリーフレットをみなさんに配布しました。

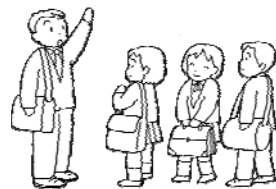
また、昨年度の事業報告では、映像を使って1年間を振り返り、今年度もさまざまな機会で、いろいろな人権啓発活動を行い、多くの方に参加していただき、人権を身近

に感じてもらえる活動につなげていきたいと思えます。総会後の講演会では、運営委員からの提案により、多文化共生をテーマに具志アンデルソン飛馬雄さんのお話を聴きました。「人は一人では生きることができない。まわりのたくさんの人たちの支えによってどんな困難も乗り越えることができる。」といった熱いメッセージが心に響きました。



映像を使い、涙あり、ユーモアありのお話でした。

# 松浦武四郎記念館・三重県人権センター



3月29日、三重県へ  
現地研修に行ってきた。  
した。

三重までバスで片道  
2時間半。少し時間はか  
かりましたが、バスの中  
では自己紹介をしたり、  
日ごろの活動について  
楽しくおしゃべりしな  
がら、親睦を深めまし  
た。

参加された宮里さん  
から感想をいただきま  
した。

人と人をつなぐ思い  
宮里 尚治

「アツ、これは夢だ」と  
目が覚める。窓には朝の光  
が差し込んでいた。「今日  
も休みで一眠りしよう。」  
このように終日暇を持て  
余していた日々。これは定  
年後の孤独を捕らえた孤  
舟（渡辺淳一著）の主人  
公にわが身を重ねていた。  
そのような時に「人権啓発  
講座」に出会った。「人権  
とは誰もが生まれながら  
にして持っている人間と  
して幸せに生きてゆく権  
利」と講義を受けたが、残  
念ながら人権問題につい  
ては知識が乏しかった。  
今回「人権フィールドワ  
ークごみえ」に参加した。

松浦武四郎記念館にて



① 自国の先住アイヌ民  
族・ブラジルなど外国人や  
自然とどのように共生す  
るかを、考えた行動の必要  
性を痛感した。② 「長い年  
月をかけて地球上に存在  
する70億の人びとは  
同じ人間である」ことを学  
び、偏見や排他的な差別を  
無意識のなかに己れにあ  
ることを思い恥じ入った。  
③ 地域まちづくりで活躍  
している高木講師の思い  
「手を伸ばし10人に振  
り払われても唯一人でも  
握り返してくれたらうれ  
しい」は自分から考え行動  
している人でしか言えな  
い深く胸に沁みる言葉で  
あった。  
これからは人と人をつ  
なぎ他人のことを思いや  
り、全体の調和を計り全て  
に幸を授かるように努め  
ることが、我が身に迫る孤  
独を和らげることになる  
だろう。

## 人権協フィールドワーク

昼食時の自己紹介...



6月22日、神戸市へ現  
地研修に行ってきました。  
今回のテーマは「震災・人  
と人とのつながり」です。  
参加された南さんから  
感想をいただきました。

「人権協フィールドワー  
ク」に参加させてもらって  
南 栄

午前中は、在日コリアン  
の今日に至る迄の説明を  
していただきました。少し  
予備知識を持って参加さ  
せてもらったのですが、現  
実は私たちが考える以上  
に努力を要したようであ  
った。

午前中は外での説明が  
多かったためか、少し疲れ  
ましたが昼食後は疲れも  
軽減、和気あいあいとした  
中での自己紹介、みんなリ  
ラックスをして笑いの一  
時でした。

人と防災未来センターにて



午後からは人と防災未来  
センターを見学、上映やそ  
の時の写真他展示を見なが  
ら心が痛みました。また説  
明の中でも阪神淡路大震災  
により、水の出ない中、排  
泄物の処理の大変だったこ  
とを聞き、感染予防や衛生  
面を考えると想像を絶する  
事だったでしょう。でも早  
期復興に向かっただけのみな  
さんの努力や人と人とのつな  
がり「和と輪」の必要性、  
力の大きさを学ぶことがで  
きました。そのつながりで、  
現在の神戸があるのだと  
思います。

東日本大震災のような  
大きな災害時にあらため  
て感じるのは、人と人と  
のつながり、人の温かさ  
ではないでしょうか。

人権啓発推進協議会で  
は地域の中でつながりの  
ある人権文化を広げる活  
動を今後もしていきたい  
と思います。

## 神戸市長田区・人と防災未来センター

阪神大震災後の復興シンボル「鉄人28号」の前で震災当時のお話を聞きました



# スタッフから見た 映画『星の国から孫ふたり』& 槇坪亨鶴子監督講演会

“憲法週間” & “男女共同参画週間” “市民の集い”

5月29日(日)、文化ホールにおいて、人権啓発推進協議会を中心とした市民の方と行政の協働で「市民の集い」を開催しました。午後1時半の開演にあわせ、スタッフは午前中に集合し、配布資料の準備やパネル展示の設営を行いました。



また、槇坪監督も10時半に会場入りされ、東日本大震災の復興に少しでも協力できるよう支援の輪を広げるため、各地で映画上映や講演会を行っていただくことをお伺いしました。監督は、「市民の集い」終了後、すぐに東京に戻られ、次の日には福島で上映会とのことでした。お忙しい中、本当にありがとうございました。



当日は、台風の影響により午前中から大雨となり、スタッフ一同、来場者が少ないのでは?という大きな不安を抱えながらも、「いざ、開場!」。なんと、272名というたくさんの方に参加していただくことができました。スタッフもたくさんの方の参加者のおかげで、感謝の気持ちを含めて、受付では人権啓発推進協議会の運営委員が一人ずつ丁寧に案内を行いました。



最後に今回の司会を務めていただきました人権擁護委員の赤井千恵子さんに「市民の集い」の感想をお聞きしました。

今回の映画「星の国から孫ふたり」を見た人は、私も含めて誰もが自閉症の特徴を知り、この障がいや少しは理解できたと思えます。落ちついた環境で肯定的に、その子どもに合わせた短い言葉や字や絵などで伝えることの必要性を感じるとともに、誰にでも優しく一人ひとりが大切にされ、明るく生きていける社会と、どのようにすればよいのかを考えさせられました。

今回の集いを通して、お互いが認め合える世の中、その温かさが広がることを願いたいと思います。



## ひととき

春過ぎて夏来るらし 白栲の  
ころもほ あめ かぐやま  
夜干したり 天の香具山

日々の暮らしの中で、時には一日中が思う様なサイクルで送れなかつたり、朝から晩迄、日がない一日中動き回っていたのに、何の充実感もなく、「今日は何だか疲れだけが残ってしまったなあ。」と感じる事があります。そんな時、寝むりに着く前のほんのひと時、私は万葉集を読む事にしています。万葉集に詠まれている4516首の歌の中には、額田王の歌のように、詠まれた当時の漢字のまま

の状態でも現代でも解釈出されていない歌もあります。でも他のほとんどの歌が解釈を読まなくても、詠まれていた一首々々をただ詠んでいるだけで、飛鳥時代の詠み人の心情やそれにまつわる背景が私の脳裏に浮かんで来て、しばし、その時代のロマンにひたるのです。

天皇が詠んだ歌から  
大伴家持、山上憶良、  
柿本人麻呂、その他諸々の地方に居る防人の歌、そして額田王など歴史の中だけでしか知らない名前の人達が、ごく自然に、私の中にじゅくりと入って来て、詠まれたであろう飛鳥時代の叙情に、しばしの間潜る事が出来るのが万葉集を詠む事の楽しみです。



< 樋田哲仙作 >

真鍋 正子

# 各校区総会



校区人権協の総会が各校区で開催されました。各会場ともに大変充実した総会となりました。勢の参加を得て、

総会後の研修では泉南市教育委員会の酒井久也さんをお招きし、「固定観念について考えるワークショップ」と題した講演をしていただき、参加者全員最後まで熱心に受講して、大変有意義な一日を過ごしました。



新家校区総会(5月22日)



雄信校区総会(5月19日)

わたしたちの意識の中にある“思い込み”。いろいろな見方、考え方があることを実感しました。



樽井校区総会(5月20日)



西信達校区総会(5月11日)



砂川校区総会(5月14日)

## 編集後記

『新聞をつくろう!』の掛け声から約10カ月、ようやく発行の運びとなりました。初めての試みで全てが手探りの状態からのスタートでした。サイズやレイアウトの参考に市内外の各種団体の発行紙を取り寄せ、掲載記事執筆のお願いをし、市民の集いやシネマフォーラム・フィールドワークの記事・写真をまとめ、なんとか形が見えてきた頃には6月に入っていました。まだまだ改善の余地はありますが、これを機会に『人権啓発推進協議会』のことを少しでも知っていただければ幸いです。最後に、協力いただいた皆様に紙面を借りて御礼申し上げます。

(企画実行委員会 編集員)

## じんけん写真募集

毎年11月に、イオンで人権作品展を開催しています。

テーマは絆(きずな)

人と人の結びつきを感じる、心あたたまる写真を募集します。

詳細については泉南市広報9月号をご覧ください。